

日本応用藻類学会 第23回大会と総会のご案内

日本応用藻類学会会員各位

日本応用藻類学会会長 三上 浩司

日本応用藻類学会第23回大会を、下記の要領で開催しますので、ご案内致します。

記

1. 開催日 2025年9月13日(土)9:30～17:40, 9月14日(日)10:00～(演題数に応じて変更)

2. 会場 熊本県立大学 講義棟2号館 中講義室1

3. 日程

9月13日(土)

9:30～ 受付開始

10:00～12:00 口頭発表

12:00～13:00 休憩

13:00～14:00 ポスター発表

14:15～16:45 企画シンポジウム

17:00～17:40 総会

9月14日(日)(演題数に応じて変更あり)

10:00～ 口頭発表

12:00～ エクスカーション(出発場所:熊本県立大学)

「宇土さんぽ ～ドゥルー女史顕彰碑と海藻セレクトショップ
MOBAめぐり～」

(詳細は、「7. エクスカーション」を参照)

総会終了後、学術交流会(19:00～)を予定しております(原則事前申込)。

4. 大会参加費(当日会場入りの受付にて徴収)

日本応用藻類学会会員：事前申し込み 7,000 円, 当日申し込み 8,000 円, 学生一律 2,000 円

日本応用藻類学会非会員：事前・当日申し込みとも 9,000 円

* 聴講のみ学部学生の参加費は無料にします(要旨の配布はしません)

* 当日入会される参加者は、当日参加費(一般:8,000 円, 学生:2,000 円)と年会費(一般:8,000 円, 学生:3,000 円)を申し受けます。

* 事務局ではお弁当(¥1,000 お茶付き)の注文を受けます。

* 学術交流会費は¥6,000 円予定(当日変更あり)しています。

* 事前参加申込期限は 2025 年 8 月 15 日(金)[必着]とします。

ただし、一般研究発表を希望される会員は、2025 年 8 月 8 日(金)[必着]までに登録をお済ませください。

5. 参加申し込み方法

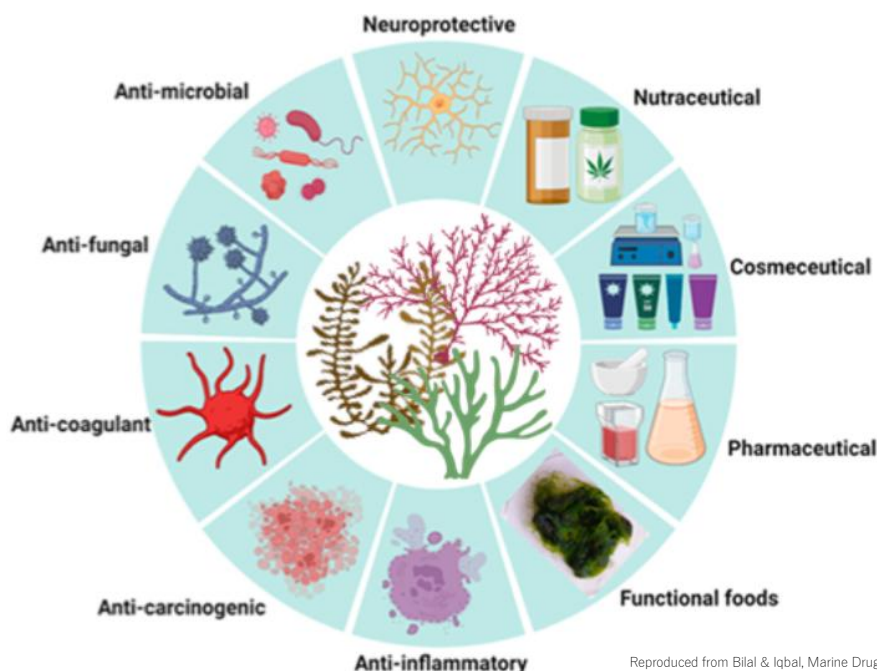
参加者は一般研究発表の有無に関わらず、別紙会員用または非会員用の参加登録票の様式により電子メールまたは FAX でお申し込みください。研究発表の共同研究者で参加を希望される方も、同様にお申し込みください。また大会終了後に、日本応用藻類学会総会を開催致します。総会に欠席される会員は、別紙4の様式にて委任状の提出をお願い致します(文書を郵送もしくは pdf ファイルをメールにて、庶務幹事まで提出お願い申し上げます)。

6. 参加申込票、一般研究発表登録票、発表要旨原稿の送付先

メールでの申し込み: info@applied-phycology.jp FAX での申し込み: 088-683-7027

岡 直宏 徳島大学水圏教育研究センター 〒771-0361 徳島県鳴門市瀬戸町堂浦地廻り壱 96-14

日本応用藻類学会第 23 回大会 企画シンポジウム
「海藻多糖類の可能性を拓く：九州発・健康と機能性の最前線」



Reproduced from Bilal & Iqbal, Marine Drugs, 2020, 18(1): 7, CC BY 4.0

海藻は、古くから食用や薬用として利用されてきた天然資源であり、近年ではその機能性成分に注目が集まっている。なかでも海藻多糖類（フコイダン、アルギン酸、ラミナランなど）は、抗腫瘍作用、免疫調節、抗炎症、抗ウイルス、さらには生活習慣病予防など、様々な生理活性を有することが報告されている。海藻多糖類の研究は、食品科学、薬学、医学、生物資源科学など、複数の学術分野を横断するテーマとして発展しており、さらに近年では、機能性表示食品やヘルスケア製品への応用も進みつつある。また、持続可能な天然素材としての社会的価値も高まっており、海藻多糖類の総合的な理解と利活用は、学術的にも実務的にも今後ますます重要なテーマとなっている。

本企画では、海藻多糖類の健康機能性に関する基礎研究の進展、生理機能のメカニズム、健康課題への応用について、九州で活躍中の学術界と産業界の双方の研究者にご講演いただき、多角的な視点を通じて、海藻多糖類が持つポテンシャルをあらためて考える機会としたい。

企画責任者 田代有里

プログラム

- 14:10～14:15 S01 趣旨説明 : 田代有里 (京都府立大学 農学食科学部)
- 14:15～15:00 S02 「海藻由来酸性多糖類の多彩な生物活性と有効活用を目指して」
: 上野幹憲 (長崎大学 水産学部)
- 15:00～15:45 S03 「*Cladosiphon* 属由来フコイダンの抗腫瘍効果」
: 照屋輝一郎 (九州大学大学院 農学研究院 生命機能科学部門)
- 15:45～16:30 S04 「さぁ はじめよう！「海藻ファースト」で塩・糖・脂対策！
～海藻の多糖類は、ほんにすごかねえ！～」
: 吉積一真 (カネリョウ海藻株式会社 海藻科学研究所)
- 16:30～16:45 S05 総合討論 : 田代有里 (京都府立大学 農学食科学部)

7. エクスカーション

「宇土さんぽ 〜ドゥルー女史顕彰碑と海藻セレクトショップ MOBA めぐり〜」

宇土市は、熊本県の中央部にある人口3万5,000人ほどの小さな市で、小西行長の城下町として知られています。また、宇土市は有明海での海苔養殖が盛んで、実は、日本の海苔養殖の発祥の地であります。宇土市住吉町にある住吉神社は海苔養殖の聖地で、境内裏手の住吉灯台の下にはイギリスの海藻学者で海苔の人工種苗の基礎を築かれたキャスリーン・メアリー・ドゥルー・ペーカー女史の顕彰碑が建立されています。海藻セレクトショップ MOBA は海藻商品を専門に扱うセレクトショップで、全国各地から選んだ海藻商品が常時約500種類販売されています。MOBAの目の前には「海へ続く道」と知られる名勝“長部田海床路”を贅沢にテラスから眺められます。干潮時にのみ現われる道は、幻想的で干潮満潮の2時間前後が見頃です。是非エクスカーションに参加していただき、ドゥルー女史顕彰碑と海藻セレクトショップ MOBAを訪れて、目前に広がる雄大な有明海を眺めながら、日本の海苔養殖事業に革命的進歩をもたらしたドゥルー女史の偉大な功績に思いを馳せてみてはいかがでしょうか？

エクスカーションの参加費は無料です。是非ともご参加ください。

・**集合場所・出発時間：9月14日(日) 熊本県立大学 講義棟2号館 12:00 (詳細は学会会場にて連絡)**

コース(5時間程)：熊本県立大学→住吉神社・住吉自然公園(ドゥルー女史顕彰碑)→海藻セレクトショップ MOBA→JR 熊本駅 新幹線口(16時着予定)解散(希望者のみ降車)→熊本空港(17時着予定) 解散(希望者のみ降車)→熊本県立大学(18時着予定) 解散

エクスカーションへの参加希望の方、当日のお弁当希望の方は、大会参加申し込み時に、お知らせください。

当日は、貸し切りバスで移動します。参加される方は、移動中のバス内で昼食を摂っていただくよう、お願いします。

解散場所は、JR 熊本駅 新幹線口、熊本空港、熊本県立大学の3か所になります。ご希望をお知らせください。

内容詳細は若干変更する場合があります。ご了承ください。

8. 大会会場案内

熊本県立大学 講義棟2号館 中講義室1



向かい側の熊本赤十字病院
が目印です



[交通手段]

・路線バスあるいはタクシー(マイカー)をお選びいただき、下記方法のいずれかでお越しください。

注: JR や路面電車は直接アクセスしていません。

・バスでお越しの方は「日赤病院前」の行き先になっているものは、大学の最寄バス停いずれかに停車します。

・大学にお越しいただく際の降車バス停は大学構内図を参考にお越しください。なお、地図とバス停位置が多少異なりますが、建物を目指してお越しいただき、空いている門をご利用ください。

マイカー・タクシーによるアクセス

●熊本ICから	約15分(約4.3km)	●JR熊本駅から	約25分(約8.2km)
●益城熊本空港ICから	約10分(約4km)	●JR水前寺駅から	約15分(約4.2km)
●阿蘇くまもと空港から	約25分(約13km)		

バスによるアクセス

桜町バスターミナルから

15番のりば

- 都市バス「長嶺小学校・免許センター」行([G1-4]、[G1-5]表示)
「日赤病院前」バス停下車(約30分)。
そこから徒歩1分

26番のりば

- 都市バス「日赤病院・長嶺団地」行([H1-1]、[H2-1]、[H3-1]表示)
「県立大通り」又は「県立大学前」バス停下車(約40分)。
そこから徒歩1分

JR熊本駅方面から

1番のりば

- 都市バス「免許センター」行([G1-5]表示)
「日赤病院前」バス停下車(約40分)。
そこから徒歩1分

6番のりば

- 都市バス「長嶺団地」行([H4-1]表示)
「県立大通り」又は「県立大学前」バス停下車(約40分)。
そこから徒歩1分
- 都市バス「長嶺小学校」行([G1-6]表示)
「日赤病院前」バス停下車(約30分)。そこから徒歩1分

その他

- バスにより桜町バスターミナル下車(約10分)
- 市電により辛島町電停下車(約10分)。
その後桜町バスターミナルまで徒歩約2分

JR新水前寺駅方面「水前寺駅通り」バス停(スーパーマーケット前)から

- 都市バス「日赤病院・長嶺団地」行乗車([H2-1]、[H3-1]表示)
「県立大通り」バス停又は「県立大学前」バス停にて下車(約20分)。そこから徒歩1分

JR水前寺駅方面南口「水前寺駅前」バス停から

- 都市バス「日赤病院・長嶺団地」行乗車([H2-1]表示)
「県立大通り」バス停又は「県立大学前」バス停にて下車(約20分)。そこから徒歩1分

JR水前寺駅方面北口「熊高正門前」バス停から

- 都市バス「日赤病院・長嶺団地」行乗車([H1-1]、[H4-1]表示)
「県立大通り」バス停又は「県立大学前」バス停にて下車(約20分)。そこから徒歩1分

[宿泊について]

学会期間は3連休となりますので、早めの宿泊先予約をお願いします。

なお、**会場大学周辺にはホテルはありません。**

中心市街地(桜町、熊本市役所、通町筋、水道町)が交通の便が良いです。

桜町はバスターミナル、通町筋や水道町は桜町から来たバスが大学方面へ行くときに通るバス停となります。

その他ホテルが多いエリアとして熊本駅や水前寺駅周辺があります。

ただし、中心市街地に比べると大学へは乗り換えや時間がかかることが予想されます。

地図などで確認いただき予約をお願いします

9. 一般研究発表の登録方法(口頭・ポスター発表を希望される方)

研究発表を希望される会員(演者のみ)は、別紙登録票と発表要旨の原稿を、電子メールで庶務幹事までお送りください。電子メールがお使いになれない会員は、庶務幹事までご連絡下さい。会場およびプログラム上の制約から、ポスター発表への変更を依頼する場合が生じるかもしれません。その場合はご協力をお願いします。

研究発表の演者は、日本応用藻類学会会員に限られます。非会員で演者として研究発表を希望される方は、事前に入会申込書(末尾に添付)をファックス、または、メールで送付後にご登録をお願い致します。なお、日本応用藻類学会の年会費は 8,000 円です(学生は 3,000 円)。

* 一般研究発表の登録 2025 年 8 月 8 日(金)[必着]が期限です。

* 発表要旨原稿の送付 2025 年 8 月 20 日(水)[必着]が期限です。

10. 発表要旨原稿の作成要領と原稿送付方法

原稿形式は、MS-WORD 形式の電子ファイル、またはテキストファイルのみで受け付けます。原稿は、当日要旨集として配布するとともに、会の機関誌に掲載します。

掲載順序は演題、演者名、所属、本文の順に行を改めて書いて下さい。

共著の場合は演者名の前に○をつけて下さい。所属が異なるときは、各著者名の後ろに*、**、***印(上付き)を付し、所属の前に*、**、***印(上付き)を付して区別して下さい。

本文は目的、方法、結果などの小見出しを付けずに、A4で1~2ページで記載してください。複数の図表(カラー可)の貼付けも可能です。フォントサイズや書式は事務局で統一するので、特に定めを設けません。ただし、なるべく全角文字(2バイト文字)はMS明朝体、英字(1バイト文字)はTimes New Romanを使用して下さい。2バイト特殊文字は、使用しないで下さい。(°Cは℃のように英字2文字に分けてください)

句読点は和文原稿の場合、「、」と「。」を使用して下さい。

学名表示は下線付き表示ではなく、イタリック(斜字体)で表示して下さい。打ち出し原稿をそのまま印刷しますので、著者校正はありません。

原稿は、下記の送付先に、「応用藻類春シンポジウム要旨(山田—1)」のような件名で、電子メールの添付ファイルとしてお送り下さい。図表を使われる場合は、TIFかJPG形式で別途のファイルを添付してお送りください。なお、5Mb以上の原稿は直接受信できない場合がありますので、事前にご連絡をお願いします。特殊な記号やJIS外字を使った原稿については、照合用にFAXを必ずお送り下さい。

原稿送付先アドレス: info@applied-phycology.jp

例)

スジアオノリ陸上養殖のための組織培養を用いた種苗生産

喜多郁弥*・團昭紀**・岡直宏***・齋藤稔**・浜野龍夫**

(*徳島大院・総合科学教育部, **徳島大院・社会産業理工学研究部, ***BIRC 鳴門)

スジアオノリ *Ulva prolifera* は徳島県が全国シェアの大半を占めている。実験では、スジアオノリ藻体 200g を-30℃で凍結後、ブレンダーにかけ—

11. 発表形式

(1) 口頭発表

時間: 発表 12 分, 質疑応答 3 分です。機器: デジタルプロジェクターのみが使用できます (OHP は使用できません)。ソフトウェアは Microsoft Power Point をご使用ください。

本大会で使用する OS および PowerPoint のバージョン:

Windows の方: Windows7 Office2010 以降

Macintosh の方: 大変申し訳ありませんがパソコンをご持参し、プロジェクターに接続してください。

接続アダプタやケーブルが必要な場合は、各自でご用意下さい。Macintosh のコネクターは、HDMI あるいは D-Sub (15pin) が接続可能です。

PowerPoint ファイルの受付: 午前の発表者は 9 時 30 分までに、午後の発表者は 12:30 までに演者用パソコンにご持参しコピーして下さい。データ受け渡しメディアは **USB メモリ**とします。USB についてはウイルスチェック済みのものをご使用いただき、講演ファイル以外は保存されないことにご留意下さい。上記メディアでの受け渡しができない方は発表前日までにご相談ください。発表者ご自身の氏名をファイル名に記してください (例: 山田太郎—1.ppt)。口頭発表前の休憩時間等にスライドの動作を確認してください。

(2) ポスター発表

サイズ: 縦 120 cm 以下, 横 90 cm 以下の大きさで作成して下さい。貼り付け用具: ピンまたはテープを事務局が準備します。必要記載事項: ポスターの上部 (高さ 15~20 cm の範囲) に、発表番号、表題、氏名 (所属) を明記して下さい。構成: 目的、実験結果、結論などについてそれぞれ簡潔にまとめた文章をつけて下さい。写真・図表: それぞれに簡単な説明文を添付して下さい。フォント・図表サイズ: 少し離れた場所からでも判読できるよう調整して下さい。

掲示期間: 9 月 13 日 (土) 11:00 までに所定の場所に掲示し、17:15 までに撤収して下さい。ポスター集中討論を行いますので、その時間ポスター脇に待機してください。集中討論の時間は、学会ホームページに掲載されるプログラムをご確認ください。

【学生賞について】

口頭発表およびポスター発表で各 7 名以上の発表がある場合に限り、学生賞 (優秀賞: 口頭発表, ポスター各 1 名ずつ) を設けます。対象は、学士、修士、博士課程の学生に限ります。学生の皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。

【大会企画責任者】

〒982-0215 宮城県仙台市太白区旗立2-2-1 宮城大学 食産業学群 生物生産学類

三上浩司 E-mail: info@applied-phycology.jp

日本応用藻類学会第23回大会

参加登録票【日本応用藻類学会会員用】

整理番号()

メールでのお申込みは info@applied-phycology.jp

日本応用藻類学会庶務幹事 岡 直宏 行

FAXでの申し込みは以下にお願いします。

FAX 088-683-7027 岡直宏 (徳島大学生物資源産業学部附属水圏教育研究センター)

締切(必着): **事前参加登録8月15日(金)**

一般研究発表登録8月8日(金), 発表要旨原稿提出8月20日(水)

氏名

所属

Tel: - - Fax: - -

E mail: @

参加登録形態(□にチェック, または, 不要な選択肢を削除してください)

a. 一般研究発表: □しない(聴講のみ), □共著者として発表

□演者として発表(口頭 Windows/Macintosh), □演者として発表(ポスター)

演題:

発表者氏名(所属)(共著者がいる場合は, 演者の左肩に○をつけて下さい):

* 演者のみ記入。複数発表される場合は別票に記入し, 特に発表順番を指定する場合は, 本欄余白に記入してください。発表要旨原稿は8月21日(必着)までにメールでご送付ください。

b. 弁当(お茶付きで1,000円を予定): 9月13日(土) □注文する, □しない

9月14日(日) □注文する, □しない

c. 学術交流会: □参加, □不参加

d. エクスカーション: □参加, □不参加 (解散場所: □JR熊本駅 □熊本空港 □熊本県立大学)

e. 同伴非会員: □同伴者なし, □非会員を同伴する→同伴者のご氏名と所属

氏名(所属): 計 名

同伴非会員学術交流会出席 名出席

* 複数発表される場合は, その分の本票を送付してください。

参加登録票【非会員用】

整理番号()

日本応用藻類学会庶務幹事 岡 直宏 行

FAX 088-683-7027 岡直宏 (徳島大学生物資源産業学部附属水圏教育研究センター)

ご所属

E mail @

a. 弁当(お茶付きで1,000円を予定): 9月13日(土) ☐注文する, ☐しない
9月14日(日) ☐注文する, ☐しない

b. 學術交流會：☐參加， ☐不參加

c. エクスカーション: ☐参加, ☐不参加 (解散場所: ☐JR熊本駅 ☐熊本空港 ☐熊本県立大学)

d. 同伴者: ☐あり, ☐なし

氏名(所属): _____ 計 名

同伴非会員学術交流会出席 名出席

別紙 3

No.

日本応用藻類学会入会申込書

私は、日本応用藻類学会の活動趣旨に賛同し、個人会員としての入会を申請します。

年 月 日

ふりがな

氏 名:

所属(職名):

所属の住所:(〒 —)

印刷物送付先住所(ご自宅へ送付希望の方や所属の住所と異なる場合のみご記入ください)

電話番号: _____

FAX 番号: _____

E-mail: _____@_____

研究分野またはご興味のある分野に○を付けてください

○専門分野

生物学 生化学 工学 栄養・食品学 医学 薬学 総合科学 その他()

○研究内容

- ・生理制御: 環境応答 形態形成 光合成 遺伝子発現 オミックス解析
- ・生体分子: 機能性 香気 呈味 色素
- ・技術: 加工 分析 増養殖 藻場造成
- ・資源: バイオマス バイオ燃料
- ・その他()

委 任 状

2025 年 月 日

日本応用藻類学会
会長 三上 浩司 殿

機関名: _____

連絡担当者名: _____

代理人については、下の 1 または 2 に○印をつけて下さい(※2 を選んだ場合には代理人名をご記入下さい)。

1. 私は議長を代理人と定め下記の権限を委任します。
2. 私は出席会員 _____ を代理人と定め下記の権限を委任します。

記

日本応用藻類学会の 2025 年度総会に出席し、議決権を行使する一切の件。

以上

別紙 5

会費振込先: 振込み手数料はご負担ください。

また現金で振り込まれる場合は、電信扱いでの振込みが必要となります。

会費振込先:

【ゆうちょ銀行】郵便局から振り込まれる場合

記号: 19510

番号: 04371971

加入者名: 日本応用藻類学会

【ゆうちょ銀行】郵便局以外の金融機関から振り込まれる場合

店名: 九五八(読み: キュウゴハチ)

店番: 958

預金種目: 普通預金

口座番号: 0437197

名義: 日本応用藻類学会

事務局連絡先:

三上 浩司(会長)

〒982-0215 宮城県仙台市太白区旗立 2 丁目 2 番 1 号 宮城大学 食産業学群 生物生産学類

岡 直宏(庶務)

〒771-0361 徳島県鳴門市瀬戸町堂浦地廻り 96-14 徳島大学 生物資源産業学部附属 水圏教育研究センター

TEL&FAX 088-683-7027, E-mail: info@applied-phycology.jp